

西淀川区
地域活動協議会

頑張っ
ています!



地域活動



みなさんの暮らしを支える各地域の地域活動協議会では、コロナ禍においてもさまざまな工夫を凝らし、福祉や健康、こども・青少年育成等の事業を続けています。今回はコロナ禍における地域活動の様子をご紹介します。



姫島

地域活動協議会

ふれあい納涼大会

感染症対策コーナーを設け、非接触型体温計による入場前の検温や、手指の消毒、ブース間の距離を保つなどの感染対策を行ったうえでふれあい納涼祭が開催されました。毎年恒例の花火については、今年は打ち上げ花火ではなく、手持ち花火によって密接せずに夏の風物詩を楽しめるように工夫を行い、皆さんに楽しめました。



新型コロナウイルス対策の啓発と消毒コーナー



出来島

地域活動協議会

トレジャーハンティング

子どもが参加できる事業の中止があいつぐ中、子どもたちが安全に楽しめる新事業として「出来島トレジャーハンティング」を開催。参加者は、屋外の広いグラウンドで11のブースを巡り、クイズを解いて、参加賞をゲット!検温・消毒の徹底はもちろん、密を生まないように地域ごとに時間帯を区切るなど、やさしさと工夫が詰まったイベントとなりました。



最初に検温と消毒を行いました



地域活動協議会

お花見や夏祭りなどの季節の行事は、地域活動協議会が中心となって開催されています。地活協は、地域団体やNPO、商店会など、さまざまな団体が集まり、話し合いをしながら、地域づくりに向けて取り組んでいます。西淀川区では、14の地域活動協議会が、基本単位に活動しています。

野里

地域活動協議会

高齢者食事サービス

閉じこもりを予防し、地域の方々のふれあいを深める高齢者食事サービス。消毒、検温、換気などの感染症対策を行いながら再開している地域があります。

野里地活協では昨年10月から再開しました。アクリル板やパネルを活用した仕切り板を用いながら実施しています。食事中は会話をしないといったルールも徹底しています。

千舟地活協も昨年10月から再開。手作りの料理で、家庭的な雰囲気と味を味わうことができ、ホッとする時間が体と心の健康になっています。お持ち帰りも可能です。

普段どおりとはいきませんが、高齢者を孤立させずにつながりを育む場を大事に活動しています。



仕切り板を設け、十分に間隔を空けて座っています



千舟

地域活動協議会